

県民の心配事の第1位は、今年も「自分や家族の老後」

第2位の「生活や所得」が接近

連合群馬が毎年行っている「県民意識調査」は県民の一人ひとりの考え・要望を幅広い層からアンケートにより把握し、集約・分析する中で、政策的課題の検討、そして「政策・制度」を策定するにあたっての基礎的資料を得ることを目的として実施しています。2006年度は、10,533名（組織内5,075名、組織外5,458名）の方にご協力いただきありがとうございました。集約結果の一部を紹介します。

地協では、ふれあいフェスティバルも活用し県民意識調査に取り組みました



前橋会場



高崎会場



藤岡会場



太田会場

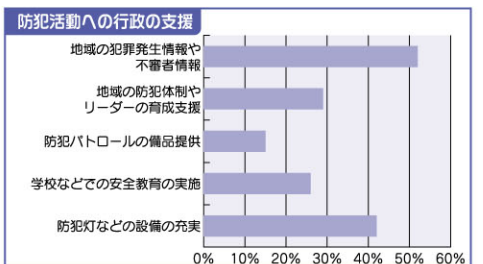
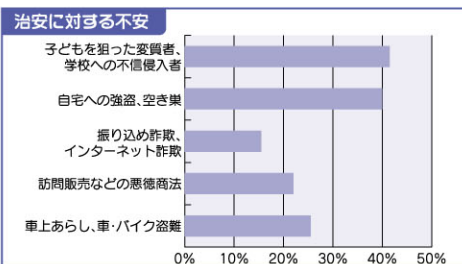
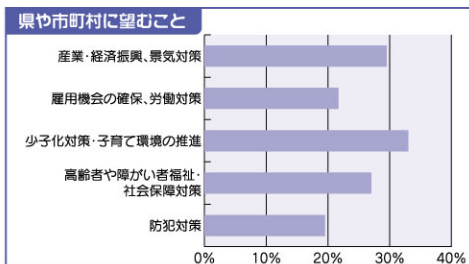
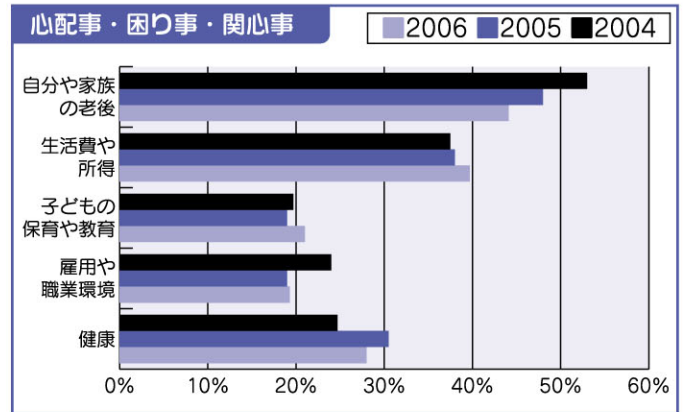
毎年、同じ項目で設問している『心配事・困り事、関心事』（10項目中2つ選択）は、上位5項目の3年間の比較を紹介します。

この数年上位5項目の順位は変わっておらず、「自分や家族の老後」（44.1%）の値が最も高くなっています。しかし、「自分や家族の老後」は昨年比-4.0%減少（2004年との比較では-8.5%）の反面、「生活費や所得」（39.9%）は昨年比+2.5%となり、両者の差は4.2%と接近してきています。これは、小泉政治のもとで行われた、サラリーマンや高齢者を狙い撃ちにした増税や格差拡大に対しての実感が反映されているかもしれません。

『県や市町村に望むこと』では、「少子化対策・子育て環境の推進」（33.9%）がトップ、「産業・経済振興、景気対策」（29.1%）、「高齢者や障害者福祉・社会保障対策」（26.6%）が続いています。

『治安に対する不安』や『防犯活動への行政の支援』については、子どもを狙った犯罪の増加していることなどの影響が見られます。

連合群馬では、「2007年度政策・制度要求と提言」を策定し、これらの県民意識調査の結果を反映させて小寺群馬県知事に提言を行います。



『政策フォーラム』開催のお知らせ

日時 7月29日(土) 9:40~11:30

場所 前橋市総合福祉会館

内容 政策・制度要求の実現に向けた取り組み報告
県民意識調査結果と2007年度政策・制度要求と提言の
素案提案